

博愛祭を終えて

博愛祭実行委員長 間下 沙恵（看護学科第42期生）

今回私たちは、7月に博愛祭を行いました。今回の博愛祭では“幸せな日常をみんなで作るみんなの命 with コロナ”というテーマを掲げ、コロナ禍で様々な行事が中止となった中、私たちは多くの方々に支えられていることに感謝し、力を合わせ、学習の成果を伝えながら博愛の心を地域の皆様と笑顔で楽しい時間を共有したいという考えのもと開催しました。



准看護学科、看護学科の学生が協力しながら博愛祭を最高のものにするため、学生全員それぞれが担当になったブースで個性あふれる出し物を準備しました。駐車場の誘導や受付の準備に対して、感染対策についても考え、来校者のマスクの準備や感染ポスターの準備などをしました。コロナ禍での開催であったため、校内の消毒液の準備やブースに入る前の人数制限、教室の中にテープを張り、来校者が密にならないような工夫をブースごとに考えてもらい行いました。開催後、感染した学生は1人もおらず、最高な形で博愛祭が開催出来たことがとてもうれしく思いました。

今回の博愛祭は3年ぶりの開催でした。私自身、准看護学生だった時に一度だけ参加したのみで右も左もわからない中で実行委員を努めました。最初は仲間同士でぶつかってしまうことも多く、開催できるか不安でいっぱいでしたが、同学年の学生がブースごとのリーダーとして、ブースごとにどのように盛り上げるか考えて、学生全員が協力し合いながら開催できました。そのことが、無事開催でき、盛り上がった理由ではないかと思います。最高の博愛祭でした。